

「サポートファイル かけはし」について

「サポートファイル かけはし」とは？

「サポートファイル かけはし」は、保護者の方が、お子さんの個性や特性、子育て中のエピソードや医療・療育・福祉・教育等の情報を1つに整理して記録し、行政の窓口や支援機関・病院等を訪れ、これまでの経過やこれまで受けていた支援内容等を説明する際に、支援者と情報を的確に共有することで、支援機関や支援者が変わっても継続して一貫した支援を受けることをサポートするものです。

今後、「サポートファイル かけはし」をお子さんのライフステージごとに活用していくことで、お子さんの良き理解者が増え、地域で安心して生活を送ることができ、支援の輪を広げていくことにつながると考えています。

○作成のポイント

- ・記入は基本的に保護者の方が行いますが、シートの内容によっては、支援者に記入してもらいます。
- ・記入したシートは、A4判のクリアファイルなどに入れてご家庭で保管してください。
- ・学校や支援機関からの資料（個別的教育支援計画書・成績表・診断書・計画相談の書類など）を一緒に綴じ込むと便利です。
- ・どのページから記入しても構いませんので、記入しやすいところから記入しましょう。
- ・作成のタイミングはそれぞれです。
入園や入学・進学・就労などお子さんの状況に変化がある時や、行政の窓口や支援機関などで福祉サービスを受けるにあたり、これまでの経過やお子さんの個性や特徴などを記入しておくとう便利です。
- ・お子さんの成長に合わせてやライフステージが変わるタイミングで、更新をしていきましょう。
- ・活用する場面に合わせて使うシートを選んで持っていくこともできます。
- ・ホームページには、各シートだけでなく、記載例や記入方法について掲載してあります。

https://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/kosodate_kyoiku/kosodateshien/20171225155929.html

又は「横浜市青葉区 サポートファイル かけはし」で検索



**ファイルの内容は大変貴重な個人情報ですので、取り扱いには十分注意をしてください。
また保護者の方の了解のもと、必要な部分のコピーをしたり支援者同士で情報を共有することができます。**

○支援者の方へ

お子さんの成長や発育を促し、お子さんが安心して生活していくためには、継続して一貫した支援が受けられることが重要です。「サポートファイル かけはし」を活用することでこれまでの経過のほか、必要な支援や今後の目標などを保護者の方と複数の機関の支援者が共通理解を持つことができます。

「サポートファイル かけはし」の各シートについて

1 プロフィール

- 氏名 生年月日等
- 緊急連絡先
- 家族構成
- 手帳の情報等

2 フェイスシート

- 日常生活のこと
 - 趣味／好きなこと
 - 性格
 - 得意なこと
 - 苦手なこと
 - コミュニケーション手段
 - 配慮事項
- (2-1) ①(知的・情緒) ②(身体)
- (2-2)

3 サポートシート

- 現在の様子（家庭・保育所・幼稚園・学校・療育センター等）
- 今後の目標（障害児相談支援）

4 ヒストリーシート

- これまでのあゆみ
- 支援機関の情報／相談内容
- 医療の経過（受診歴）
- 引き継ぎシート
- 就労に関する記録
- 思い出のページ
- メモ欄

5 Q&A

6 資料編



1 プロフィール

記入日： 年 月 日 学年： 年齢： 歳

フリガナ 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日
診断名					血液型
アレルギー	無 ・ 有 ()	医療的ケア (有の場合は2-2配慮 事項へ)		無 ・ 有 ()	

住所	
電話番号	

緊急 連絡先	続柄	フリガナ 氏名	連絡先
			携帯 ・ 自宅 ・ 会社 ☎
			携帯 ・ 自宅 ・ 会社 ☎

家族構成	続柄	フリガナ 氏名	職場・通学先	備考

手帳の情報等			
所有 の 手帳	☐ 身体障害者手帳 (級)	交付日	交付自治体
	次回更新		
	☐ 愛の手帳 ()	交付日	交付自治体
	次回更新		
	☐ 精神障害者保健福祉手帳 (級)	交付日	交付自治体
	次回更新		
	☐ 手帳なし		

現在 の 医療情報	医療機関名				
	主治医				
	連絡先				

2-1 フェイスシート①（知的・情緒）

日常生活のこと

記入日: 年 月 日 学年 年齢 歳

動 作						場所・補助具・介助状況など					
食 事	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助	食事回数	回	食欲	旺盛・普通・無		
	飲水	自立	見守り	一部介助	全介助	アレルギー 無 有 ()					
	嚥下	自立	見守り			服薬管理 服用方法					
	食事形態	普通	一口大	粗刻み	極刻み	ミキサー	他				
	食事内容	常食	特別食 ()								
	使用器具	箸	フォーク	スプーン	手づかみ	自助具	有・無				
排 泄	排尿	自立	見守り	一部介助	全介助	回数:	1日 回	尿意:	有・時々・無	伝達:	可・不可
	排便	自立	見守り	一部介助	全介助	回数:	日に1回	便意:	有・時々・無	伝達:	可・不可
	生理	自立	見守り	一部介助	全介助	失禁:	無・時々・常時	便通:	普通・便秘・下痢		
	具体时间	時間誘導 不要 要 時間									
入 浴	浴槽出入り	自立	見守り	一部介助	全介助	留意点					
	洗体	自立	見守り	一部介助	全介助						
	洗髪	自立	見守り	一部介助	全介助						
	頻度	毎日	他 月・火・水・木・金・土・日								
清 潔	歯磨き	自立	見守り	一部介助	全介助						
	洗顔	自立	見守り	一部介助	全介助						
	整髪	自立	見守り	一部介助	全介助						
	爪きり	自立	見守り	一部介助	全介助						
着 脱	上着	自立	見守り	一部介助	全介助						
	ズボン等	自立	見守り	一部介助	全介助						
日 常 生 活	洗濯	自立	一部介助		全介助						
	掃除	自立	一部介助		全介助						
	整理整頓	自立	一部介助		全介助						
	電話の利用	自立	一部介助		全介助						
	買い物	自立	一部介助		全介助						
	金銭管理	自立	一部介助		全介助						
	調理	自立	一部介助		全介助						
社 会 生 活	屋外移動	自立	一部介助		全介助						
	交通機関の利用	自立	一部介助		全介助						
	対人関係	自立	一部介助		全介助						
	集団生活	自立	一部介助		全介助						
	文字	自立	一部介助		全介助						
	時間	自立	一部介助		全介助						
要配慮事項											

2-1 フェイスシート②（身体）

日常生活のこと

記入日: 年 月 日 学年 年齢 歳

動 作						場所・補助具・介助状況など						
床 上	寝返り	自立	何かにつかまれば可		できない	電動ベット 有 ・ 無 エアーマットの使用 有 ・ 無						
	起き上がり	自立	何かにつかまれば可		できない							
	座位保持	自立	自分で支えれば可・支えが必要		できない							
	立位保持	自立	支えが必要		できない							
	移乗	自立	見守り・一部介助		できない							
移 動	屋内	自立	見守り	一部介助	全介助	補装具の使用 (杖・短下肢装具・歩行器・車椅子・その他・無)						
	屋外	自立	見守り	一部介助	全介助							
入 浴	浴槽出入り	自立	見守り	一部介助	全介助	留意点						
	洗体	自立	見守り	一部介助	全介助							
	洗髪	自立	見守り	一部介助	全介助							
	方法	一般浴槽	機械浴槽	リフター	シャワー					清拭	他	
	頻度	毎日	他	月・火・水・木・金・土・日								
排 泄	排尿	自立	見守り	一部介助	全介助	回数:	1日	回	尿意:	有・時々・無	伝達:	可・不可
	排便	自立	見守り	一部介助	全介助	回数:	日に1回	回	便意:	有・時々・無	伝達:	可・不可
	方法	便所	ポータブルトイレ	尿器	オムツ	パルーンカテーテル	ストマ	時間誘導	不要	要	時間	
	具体方法											
	生理	自立	見守り	一部介助	全介助							
食 事	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助	食事回数	回	食欲	旺盛・普通・無			
	飲水	自立	見守り	一部介助	全介助	アレルギー	無	有 (				
	嚥下	自立	見守り				服薬 薬の飲ませ方					
	食事形態	普通	一口大	粗刻み	極刻み	ミキサー	注入	その他	(医療的ケアは2-2配慮事項へ)			
	食事内容	常食	特別食 (									
	使用器具	箸	フォーク	スプーン	手づかみ	自助具	有・無	※記入しきれない場合は〈MEMO〉を使って記入するか、添付で資料をつけてください。				
清 潔	口腔清潔	自立	見守り	一部介助	全介助							
	洗顔	自立	見守り	一部介助	全介助							
	整髪	自立	見守り	一部介助	全介助							
	爪きり	自立	見守り	一部介助	全介助							
着 脱	上着	自立	見守り	一部介助	全介助							
	ズボン等	自立	見守り	一部介助	全介助							
日 常 生 活	洗濯	自立	一部介助		全介助							
	掃除	自立	一部介助		全介助							
	整理整頓	自立	一部介助		全介助							
	電話の利用	自立	一部介助		全介助							
	買い物	自立	一部介助		全介助							
	調理	自立	一部介助		全介助							
	金銭管理	自立	一部介助		全介助							

Handwriting practice area with 30 horizontal dotted lines.

2-2 フェイスシート

記入日： 年 月 日 学年 年齢 歳

趣味 好きな こと		
性格		
得意な こと		
苦手な こと		
コミュニ ケーション 手段	本人から相手に伝えるとき	
	☐ ことば （ある程度の文章で話せる）	具体的なやりとり例
	☐ ことば （単語）	
	☐ ジェスチャー 手話 など	
	☐ 写真／絵カード／文字盤 など	
	相手（支援者）が本人に伝えるとき	
	☐ ことば （ある程度の文章で話せる）	具体的なやりとり例
	☐ ことば （単語）	
	☐ ジェスチャー 手話 など	
	☐ 写真／絵カード／文字盤 など	
友達とのやりとり・関わり方		

配慮事項					
身体面 医療面	☐ てんかんの有無 有 ・ 無 （有の場合は対応の方法など配慮事項を記入）				
	☐ 発作の有無 有 ・ 無 （有の場合は対応の方法など配慮事項を記入）				
医療的 ケア	経管栄養	経鼻	胃ろう	腸ろう	その他
	喀痰等吸引	口腔	鼻腔	エアウェイ	気管切開
	酸素療法	() ℓ			
	吸入	薬液	精製水	生理食塩水	
	発作時の対応	坐薬	VNS	その他 ()	
	(その他)				
行動面	※医療的ケアの詳細は、医療機関からの指示書や各機関で作成しているマニュアルなどの資料をつけてください。				
	混乱・かんしゃく・パニックの原因になりやすいこと				
	表現・行動（どのような傾向があるか）				
	対処方法				
予防の方法					

3 サポートシート

現在の様子（取組みや本人の状況）

記入日： 年 月 日 学年 年齢 歳

記入者：

家庭・保育所・幼稚園・学校・療育センター等での様子	
生活習慣	一日の流れ (平日) 0 12 24
	一日の流れ (休日) 0 12 24
コミュニケーション	
遊びの様子	
運動	
学習	
その他	

今後の目標（障害児相談支援）

※障害児相談支援とは、障害児が福祉サービスを利用する際に必要となる「サービス等利用計画案」を作成する事業のことです。

記入日： 年 月 日 学年 年齢 歳

本人 の 願い	
保護者 の 願い	

長期目標 (1年程度)	目標
	目標達成までにすること

短期目標 (半年程度)	目標	
	目標達成のためにすること	
	成果と課題	

短期目標 (半年程度)	目標	
	目標達成のためにすること	
	成果と課題	

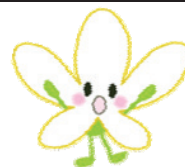
4 ヒストリーシート

これまでのあゆみ

学 齢	年 齢	所 属（学校名など）	関わった機関や利用サービス
未就学	0	機関名	
	1	在籍期間： 年 月 ～ 年 月	
	2	機関名	
	3	在籍期間： 年 月 ～ 年 月	
	4	機関名	
	5	在籍期間： 年 月 ～ 年 月	
	6		
小学校期	7	学校名 小学校（一般・通・個）	
	8	在籍期間： 年 月 ～ 年 月	
	9	学校名 小学校（一般・通・個）	
	10	在籍期間： 年 月 ～ 年 月	
	11		
	12		
中学校期	13	学校名 中学校（一般・通・個）	
	14	在籍期間： 年 月 ～ 年 月	
	15		
高校期	16	学校名	
	17	在籍期間： 年 月 ～ 年 月	
	18		
成人期	19		
	20		
	21		
	22		

支援機関の情報／相談内容

機関名	担当者	相談したきっかけ・相談内容
連絡先		
☎		
機関名	担当者	相談したきっかけ・相談内容
連絡先		
☎		
機関名	担当者	相談したきっかけ・相談内容
連絡先		
☎		
機関名	担当者	相談したきっかけ・相談内容
連絡先		
☎		
機関名	担当者	相談したきっかけ・相談内容
連絡先		
☎		



医療の経過（受診歴）

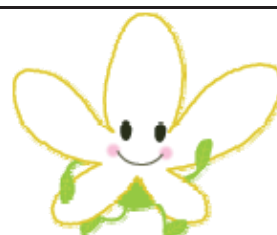
時期	クリニック・病院	病名	医師からの指示・服薬情報
胎生期 出産時			
4か月児健診 1歳6か月児健診 3歳児健診			
就学時健康診断			

引き継ぎシート（ ⇒ ）

記入日： 学年 年齢

記入機関名： 記入者：

本人が得意なこと どういった場面で 本人が得意なことが 発揮されるか	
本人が助けを必要 とすること どのような対応を してきたか	
どのようなサポート があれば本人が 安心して過ごせるか	
保護者の方の協力 を得ながら 行ってきたこと	



就労に関する記録

実習の記録			
いつ？	どこで？	内容	感想等
～ 年 月 日 年 月 日			
～ 年 月 日 年 月 日			
～ 年 月 日 年 月 日			
～ 年 月 日 年 月 日			

仕事の記録			
いつ？	どこで？	内容	感想等
～ 年 月 日 年 月 日			
～ 年 月 日 年 月 日			
～ 年 月 日 年 月 日			
～ 年 月 日 年 月 日			

～好きな場所、思い出の写真を残しましょう～



A large rectangular area with a spiral binding on the left side, containing several horizontal lines for writing.

メモ欄～面談等の記録をしておきましょう～

年 月 日 () : ~ :

内容

年 月 日 () : ~ :

内容

年 月 日 () : ~ :

内容

その他のツールの紹介

- 「サポートファイル かけはし」以外にもお子さんのことを記録し、支援を受ける際に役立つツールはあります。
- 例えば「あんしんノート」は、障害のある子どもが親や親族が亡くなった後を見据え、財産のことだけではなく、その子の特性や希望すること、関係機関のこと等についても書き残すことによって、日常生活を過ごしていく上で困らないようにするためのものです。
- 横浜市社会福祉協議会あんしんセンターやぱざぱネット、特定非営利活動法人ゆうの風など、いくつかの団体で作成しているものもありますので、使いやすいものをご活用ください。

これからに向けて・・・

記入日： 年 月 日



5 Q&A

しつも〜ん！！



Q. 子どもの発達に不安があるときはどこに相談すればいいですか？

A. 青葉区福祉保健センターの専門職（保健師や保育士等）や地域療育センターあおばなどで相談することができます。詳しくは資料1をご覧ください。

Q. 障害のある子どもが放課後に安心して過ごせる場所がありますか？

A. 小学生以上であれば、放課後等デイサービスという児童福祉法に基づく制度を利用することができます。詳しくは資料2をご覧ください。

Q. 困った時はどうすればいいですか？

（例）

- ・家族に対して叩く、蹴る等の暴力がある。
- ・学校へ行かずに部屋にこもってしまう。
- ・お友達とのやりとりが上手くいかないみたい。

A. お子さんの状態に変化のあった時には、関係機関に相談してみましよう。問題の原因にあわせた対応を一緒に考えます。詳しくは資料3をご覧ください。



Q. 就学や進路のこと（移行支援）はどこに相談すればいいの？

A 就学前から義務教育の段階の主に障害のあるお子さんに関する就学・教育相談は、特別支援教育総合センターで行っています。中学校卒業後の進路については、お子さんの教育的ニーズなどにより様々な学びの場が考えられますので、まずは在籍校の担任の先生にご相談ください。（必要に応じ進路担当の先生と共有致します）

♪学校へ行ってみよう♪

神奈川県立特別支援学校や横浜市立特別支援学校のホームページなどには「学校を開く週間」や「イベント」の案内が掲載されています。学校の様子がわかる良い機会なので興味があれば参加してみましよう！

福祉保健センターで相談できること

乳幼児
健診

福祉保健センターで行っている健診は、4か月児、1歳6か月児、3歳児の3回です。お子さんの発育や発達を成長の節目で確認し、子育てを応援することが目的です。困りごとがあればご相談ください。

電話番号 045-978-2456

こども家庭
支援相談

妊娠期・乳幼児期から学童期・思春期まで幅広い相談に応じます。こども家庭支援課の保健師・社会福祉職・助産師などが一緒に考え、いろいろな専門機関等の情報も提供していきます。

電話番号 045-978-2460

地域療育センターあおば

0歳から小学校期までの心身の遅れや障害に関する相談を行っています。

お子さまの状況により、青葉区福祉保健センター、児童相談所、幼稚園、保育所等と連携をとりながら総合的な支援を行っています。具体的な利用方法については、相談課（月～金 9時～17時 電話番号 045-978-5112）にご連絡ください。



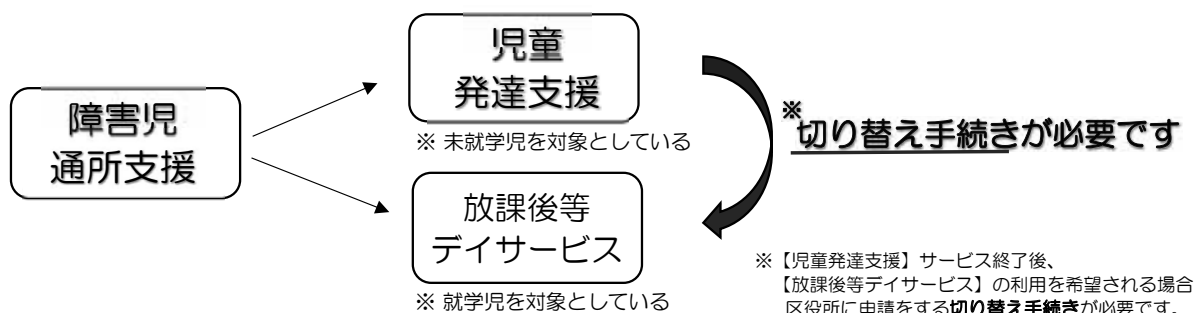
学齢後期障害児支援事業とは？

横浜市では、学齢後期（概ね中学校期以降）の主に発達障害のある、またはその疑いのある方を対象として、不登校や集団になじめないなど、生活上の困りごとの解決に向けて、相談、診療、関係機関との調整など支援を行う事業を市内3か所で行っています。

機関名称	電話番号
小児療育相談センター	045-321-1721
横浜市総合リハビリテーションセンター	045-473-0666
学齢後期発達相談室 くらす	045-349-4531

詳しくは各機関へ直接お尋ねください。

- 未就学児～18歳までの障害のあるお子さん、発達に特性のあるお子さんが利用できる児童福祉法に基づく福祉サービスです。



《 児童発達支援 》

対象となる児童	未就学児。
	障害者手帳を所持する児童。 福祉保健センター、医師の診断等により療育が必要と認められる児童。
活動内容	児童、一人ひとりに合わせた学習をすることができる。
	集団生活の中で生きる基礎力を身につける場所である。
	家族のサポーターとしての役割がある。

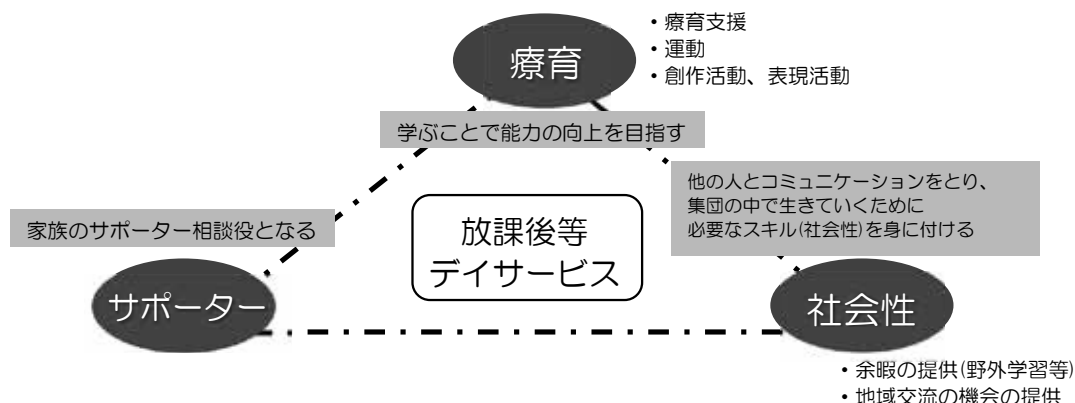
《 放課後等デイサービス 》

対象となる児童	就学児。6～18歳まで。
	障害者手帳を所持する児童。もしくは医師の診断等により療育が必要と認められる児童。
活動内容	児童、一人ひとりに合わせた学習を受けることができる。
	集団の中で、社会性を身につける場所である。
	家族のサポーターとしての役割がある。

《 保育所等訪問支援 》

対象となる児童	0～18歳まで。
	集団生活を行う施設(保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校等)に通う障害のある児童。 その施設を訪問しての専門的支援が必要と認められた児童。
活動内容	専門スタッフが保育所等を訪問し、専門的支援を行う。(障害のある児童の支援に関する知識及び相当の経験を持つ児童指導員・保育士・理学療法士・作業療法士・心理担当職員等)
	障害児本人に対する支援：集団生活適応のための訓練等。
	訪問先施設のスタッフに対する支援：支援方法等の指導等。

- 青葉区には、療育支援・運動、創作活動・居場所の機能を持った事業所があります。



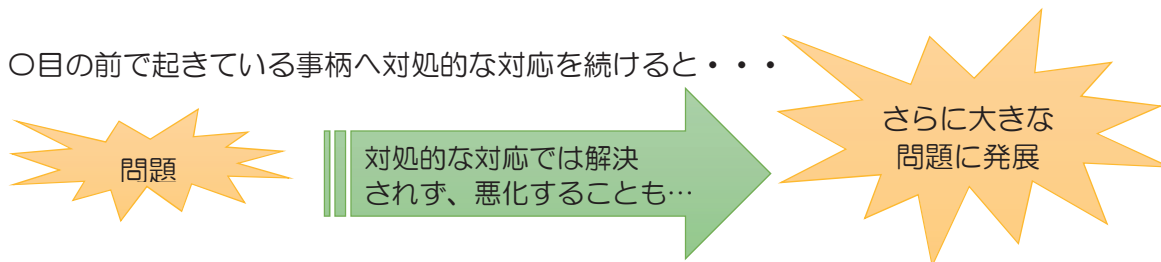
※ 障害児相談支援事業とは、サービスの利用調整や利用状況の確認、サービスについての情報提供など必要な支援を行い、児童の成長や社会に出てからの生活など総合的な相談を受けることができます。また、障害児支援利用計画案を作成し、定期的にサービス等の利用状況のモニタリングを行います。

相談するってどういうこと？

【資料3】

○お子さんの状態に変化があったとき、困ったことが起きたとき、生活がしづらいときなどに身近な支援者や相談機関などへ話をすることです。状況に合わせて情報を提供する、必要な機関へ繋ぐ、問題の整理をする、解決に向けた支援の方向性、具体的な方法などを検討するなどをしていきます。

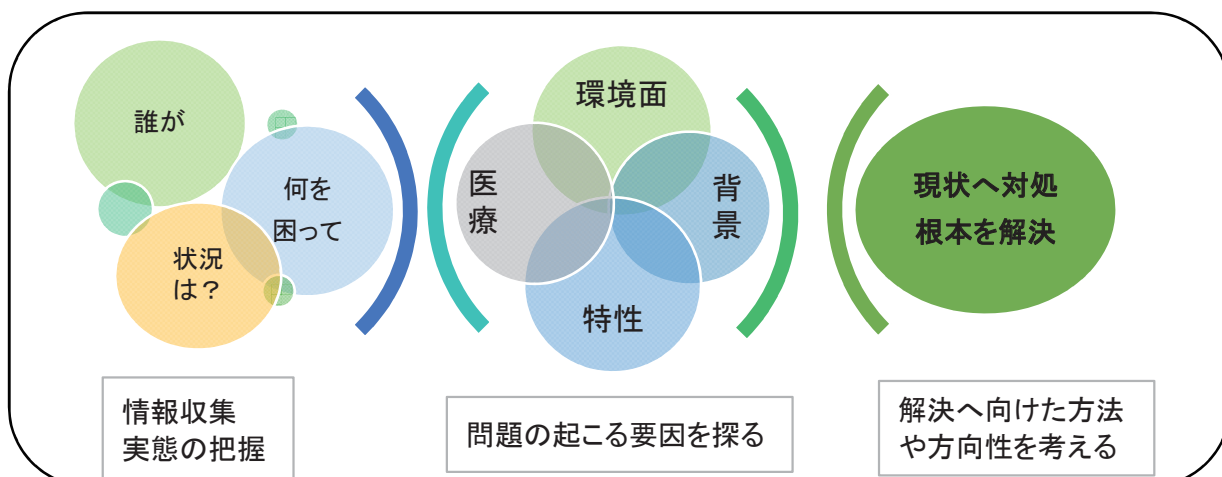
○目の前で起きている事柄へ対処的な対応を続けると・・・



○困ったこと、悩んでいることを解決していくには、問題を整理する必要があります。

- ・目の前で起きている事柄 ⇒ 対処して解決する
- ・その事柄が起きる要因 ⇒ なぜ問題が起きるのか要因を探り、その要因を解決する

※どちらにも対応してこそ、解決に繋がります。しかし、ご家庭だけで要因を探っていくことは難しいため、相談機関を交えて情報収集していきます。



○さらに問題を解決していく為に、関係する機関が状況を共有して対応していくことが大切です。

○関係する機関がチームになり支援をすることで、お子さんやご家族が困っていることや問題に対して、一貫した支援を受けることができます。

